

稲門フィラテリー

第 80 号

2021 年 6 月 1 日発行

開港当時の在日欧州系商館発着書簡 (2)

小林 彰

カルスト・レルス商会 Carst, Lels & CO.

(会社概要) オランダ国籍で元船長のドウ・コニング De Coningh とジャスキ・カルスト R.Jaski Carst がドウ・コニング・カルスト・レルス DE Coningh, Carst Lels 商会を 1860 年か 1861 年に創業。開港当時のオランダ商社として最大規模だったと言われている。ラーン著「開国前夜の日本見聞録」によれば、ドウ・コニングは 1845 年に一等航海士として日本に来たが上陸できなかった。1851 年にオランダ政府から船長として訪日の命を受け、同年 8 月長崎港に到着した。1863 年版舗行名簿ではドウ・コニング・カルスト・レルス商会の所在地が神奈川であるのに対し、カルストの住居は横浜となっている。カルストの他 4 名が同商会に勤務していたが、ドウ・コニングの名前はない。同 64 年版名簿では、ドウ・コニングとカルストは袂を分ちそれぞれ貿易商ドウ・コニング商会と同カルスト・レルス商会として再出発した。カルスト・レルス商会の所在地としては 68 年版名簿から横浜居留地 25 番と記載されている。また、この 68 年版に同 26 番 A に J.J.Carst の名前があり、職業は船具および雑貨商となっている。

今まで名簿に共同経営者のレルスの名前がなかったが、69 年版のカルスト・レルス商会にムルク・レルス Murk Lels の名前が初登場する。ただし「不在」と注釈付き。カルストは 1895 年版名簿からフランス船級協会 Bureau Veritus の検査官と記載されている。現在、ヴェリタスは輸出貨物の検査も実施している。因みに、現在、開発途上国との契約ではヴェリタス協会の検査を条件にする例が見られる。なお、カルスト夫人は 1890 年頃から 95 年頃まで自宅で塾を開いていた。

書簡 12 (差立便) カルスト・レルス差立パストレ兄弟商会 Pastré & Frères 宛

1864 年 12 月 31 日 カルスト・レルス商会差立→1865 年 1 月 13 日 英国香港局→2 月 26 日マルセイユ局→パストレ兄弟商会着 (書簡文面・仏語全文) 当月 16 日付弊通知書の確認をさせていただきます。それ以降、ここ二週間、1000 から 1200 梱に対して 400-500 梱しか処理されませんでした。これは一日平均 20-30 梱に相当します。弊社の在庫はこの 400-500 梱がすべてです。先に弊社の当時の相場をお知らせしましたが、弱含みです。納期の短縮に努めており、入荷

量はかなり一定しています。最新相場は次の通りです。

飯田：等級1 \$ 719-720、同1,2 \$ 700- 703、

前橋：1 \$ 703-719、1,2 \$ 690-700、

奥州：1 \$ 630-660、2,3,4 \$ 600-620、

甲州：1 \$ 613-620、2,3 \$ 570-580、

八王子：1 \$ 660-670、? 160-170。

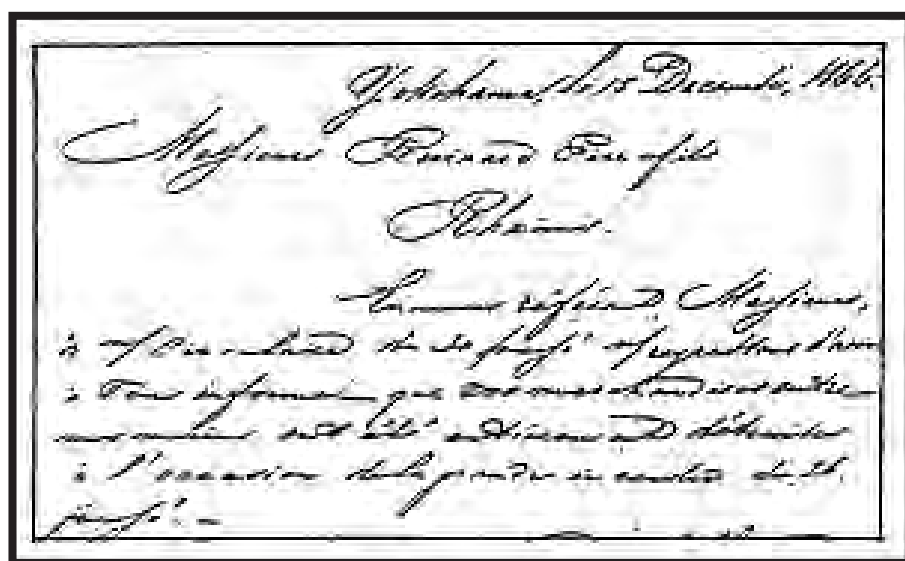
本日、他の商品はありません。

書簡 13 (差立便) カルスト・レルス商会差立
ルイナール父子商会 Ruinard Père & Fils 宛

1865年2月28日カルスト・レルス商会
差立→3月12日英国香港局→4月27日ラ
ンス局→ルイナール父子商会着

〈書簡文面・仏語全文〉当月14日付弊簡を
参照しつつ、12月26日付貴見積書を拝受
したことをご報告いたします。弊社に対す
るご厚情に衷心より御礼申し上げます。ま
た、御社のお手元に届いた最新の営業報告書
からも、また、弊社の在庫が底をついたこと
からも、弊社として御社商品の販売促進の最
善の努力を払っていることを御社に対して実

証したであろうと思っております。幸いにも
9カ月の航海後、ノーフォーク号が一昨日
ようやく入港し、再び商品を調達すること
が出来ました。弊社ではまた、同ように船舶
についての情報を得ております。すなわちア
ドリアナ・モハメド号が今月2日に長崎に
入港し、ここ横浜で毎日2隻からの新規入
荷を待っている状況です。新入荷すれば、在
庫が100梱包増加します。フォンイデュル
大臣号にはいつも待たされます。事実、この
船は既に235日に及ぶ航海を続けています。
アンリエット号用に50箱の販売委託をした
相手はオランダ籍のシュネル商会 Schnell &
Co. で、かなりの規模の会社ですが、同社が
直ぐに売上をあげるなど余り大きな期待は持
てませんでした。しかし、御社を長崎でも名
が通るようにすることが肝要だと思っていま
す。弊社は彼らにこれらのケースを送付し、
合わせて彼らにこの商品の販売のため出来る
限りのことをするように要請し、御社のご意
向に沿いたいと思っております。



〔図-9〕1866年12月15日在横浜、カルスト・レルス商会差立

書簡 14 (差立便) カルスト・レルス商会差立
ルイナール父子商会宛 [図 -9]

1866 年 12 月 15 日 カルスト・レルス商
会差立→12 月 16 日仏横浜局→1867 年 2
月 3 日 ラーンズ局→同日ルイナール父子商
会着

(書簡文面・仏語全文) 先月 30 日付弊社案
内状を参照しつつ、弊社が受託保管していた
御社の商品が前月 26 日の大火で残念ながら
全焼し全損となったことをご報告しなければ
なりません。早急に保険求償されるかと思い
ます。その上で売上台帳を御社にお送りいた
します。

[参考] 横浜の大火

上記書簡で言う「前月 26 日の大火」とは、
1866 年 11 月 26 日 (旧暦：慶応 2 年 10 月
10 日) 朝 8 時頃、居留地に隣接する日本人
街の豚肉商・鉄五郎方から出火し、折からの
西風に煽られて広範囲に延焼、日本人街の大部分と居留地の一部を焼失させた大火災のこと。運上所至近の郵便局併設のフランス領事館を始め英国、米国領事館なども類焼した。カルスト・レルス商会は当時、居留地 25 番に在って罹災し、寄託商品が全焼した。損失は無事に保険求償されただろうか。この大火については翌々日 11 月 28 日付 The Daily Japan Herald 紙がいち早く全 1 頁を割いて詳細に報道した。なお、大火後、最初にフランス横浜局から差立てられた郵便物は 12 月 17 日横浜出航のフランス帝国郵船「アルフェー号」で運送された。当該郵便物は本状を含め数通が知られている。

書簡 15 (差立便) カルスト・レルス商会差立
ルイナール父子商会宛

1868 年 12 月 15 日カルスト・レルス商
会差立→12 月 16 日英国横浜局→1869 年
2 月 8 日ラーンス局→ルイナール父子商
会着。

(書簡文面・仏語全文) 当月 2 日付弊簡を確認し、その写を添付いたしますが、ここ数日の間に多数の客先から御社に白紙委任されている商品に対し苦情を受けています。ワインの品質には問題ありませんが、ケース中の瓶の半数が破損しているからです。弊社自身で数ケース開梱してみましたが、検査の結果は苦情が寄せられてももっともだと判断いたしました。ケースの梱包状態から瓶はワインの発泡に耐えるだけの強度がないことは明白です。いくらかの値引きをして消費者の損害を僅かでも賠償することが御社の利益に繋がると思います。従って、御社はこの案に同意されると信じております。

モーリス・ランドン商会 Maurice Randon & Cie および ベルナール・エカール・ロー 商会 Bernard, Eccard & Raux

(会社概要) フランス人モーリス・ランドンは 1865 年版舗行名簿にランドン商会として掲載されている。前掲「横浜外国人居留地」の内「明治初期居留地借地リスト」の項では 186 番に M.Randon 地坪 536 とある。66 年版名簿では同商会ランドンに加え、ランド F.Rand およびシャルル・エカール Charles Eccard の名前が見える。67 年版にはランドンの名前はなく、ジョセフ・ロー Joseph Raud が筆頭に記載され、エカール、ダニエル、ベルナール Daniel Bernard が掲載されている。68 年版ではランドン商会の代わりにベルナール・エカール・ロー商会が出現する。所在地は 167 番。しかし、ベルナール

は同商会を 1868 年に去ったらしく 69 年版では商会からベルナルの名前が消え、エカール・ロー Eccard & Raux となる。さらに 72 年版ではエカールも去り、社名からエカールの名が消え J.Raud & Co.。そして事務所はローの自宅 177 番に移転した。73、74 年版名簿にはロー商会の所在地は記載されていない。75 年版 149 番。76 年版では役職員はロー家族 J.Raud および A.Raud だけとなり、77 年版ではロー商会未掲載。同商会は生糸や茶など日本からの輸出、ワイシャツやテーブルクロスなど繊維製品、釘用の棒鋼や亜鉛鉄板などの鉄鋼製品とか非鉄金属の日本への輸入を業務とする貿易商であると同時にパリ保険委員会の代理部でもあった。

書簡 16 (差立便) モーリス・ランドン商会差立 (宛先不明) 月例報告書 [図 -10]

1865 年 11 月 15 日 モーリス・ランドン商会差立→仏横浜局→宛先未記載 (書簡文面・仏語部分) 10 月 18 日弊月例報告書送付以降、最初の 2 週間に絹の価格が

当市場では引き続き高騰したことを確認する。しかし、上限に達したせいか、現在は右肩上がりの価格は収まっている。入荷量多く原料は供給過剰であるが、このようなことはこしばらくなかった。しかし良質生糸は常時品不足の状態。例え欧州の為替相場が下落しても取引は相対的に低調な一方、他方ではピアストルが強く、分(ぶ) [註：日本固有の貨幣単位] はひじょうに弱い。もし今月初めに瀬戸内海に向け出港した連合艦隊 [註：同年 11 月 4 日早朝、兵庫開港を求め英米仏蘭の連合艦隊が兵庫沖に集結したことを示す] の結果が好首尾であれば、輸出入とも活発な動きが期待できる。茶：需要は引き続き堅調で欧州船の入港以来増大している。在庫は順調に捌けている。価格はピクル当たり 2-3 ピアストル上昇している。

見積 [一部のみ紹介]

生糸

前橋および真宗等級 1,2 \$ 870-883/ ピクル

飯田 1,2,3 \$ 830-850

奥州 欠品

Long Elle assortie	10.00 a 18.00
Filee No. 16 a 24	9.00 a 10.50
" " 28 a 32	85.00 a 70.00
" " 38 a 42	80.00 a 85.00
Plomb	95.00 a 100.00
For en baguettes pour clous	le pécule 4.50 a 6.00
Etain ou saumons	idem 3.90 a 4.00
Fer-blanc	idem 23.00 a 24.00
Zinc	la boîte de 225 feuilles 5.40 a 5.00
la pécule	5.00
Change.—Londres 6 m de vue	Banques 4s 4d
" " " " " "	Credits 4s 4d
" " " " " "	Documents 4s 6d
Shanghai 10 jours de vue	Banques 71 1/2
" " " " " "	Papier privé 71 1/2
Agreez M ^r nos salutations empressées	
MAURICE RANDON & Cie.	

[図 -10] 1865 年 11 月 15 日 在横浜、モーリス・ランドン商会差立、宛先未記載
折畳式月例報告書

仙台 1,2 \$ 840
 甲州 1,2 \$ 760-780
 八王子、増田、越前 欠品

茶

低級品 \$ 17-21/ ピクル
 中級品 \$ 22-23
 高級品 欠品

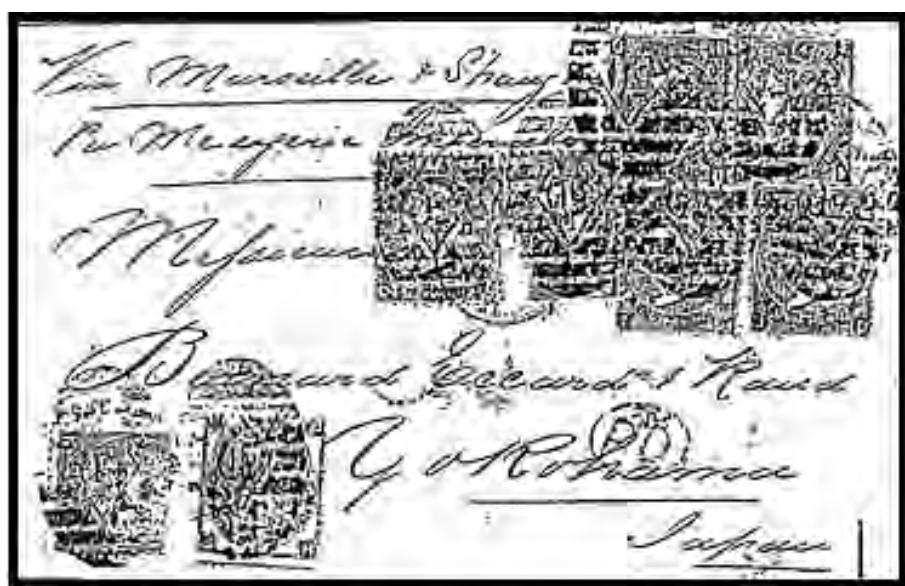
輸入品

ワイシャツ生地白 \$ 4.00-4.10
 テーブルクロス \$ 2.90-3.60
 針金 品番 16-24 \$ 65-70
 鉛 \$ 4.50-5.00/ ピクル
 釘用棒鋼 \$ 2.90-4.00/ ピクル

書簡 17 (差立便) モーリス・ランドン商会差立 (宛先不明) 月例報告書

1865 年 12 月 16 日 モーリス・ランドン
 商会差立→仏横浜局→宛先未記載
 (書簡文面・仏語要旨) 絹：11 月中旬、郵船
 出航後 2-3% の値引に応じ、幾つかの取引が
 成立した。当市場は相変わらず低調。良質

物の価格は弱含みで購買意欲は特定商品に
 片寄っており取引全体に活気は見られない。
 10 月 12 日の英国郵船が欠航となり [註：当
 時の新聞に該当記事なく、どの船を指してい
 るのか不明]、仕入および販売業者の期待に
 背くことになり、不確定要素が増大した。欧
 州為替相場で儲け、かつ先般出荷した商品か
 ら利益を上げようとするなら、今後の成行に
 ついては重大な局面に近づいてことを多少な
 りとも含んでおくことが肝要であろう。生糸
 の低級品は一般的には法外に高く、繭は 110
 ピアストルの俵となっている。輸入品：分の
 価値の下落で長期間低迷していた輸入取引は
 欧州為替市場からの情報では製造業者の待遇
 改善要求という新たな難題に直面している。
 併しながら、出荷は予想以上に伸びており、
 この種取引は準備万端。金属製品は再輸出の
 ため、調達量はひじょうに減少しているが、
 市場は上向いている。1865 年 7 月 1 日以来、
 絹 (生糸) 輸出は昨年同期の 7800 梱に対し、
 英国郵船グラナダ号での出荷分 425 梱を含



[図 -11] 1868 年 7 月 17 日在ロンドン、クーネン・レッキー商会差立、
 9 月 7 日在横浜、ベルナール・エカール・ロー商会着 折置式

め 6431 梱となっている。

書簡 18 (到着便) クーネン・レッキー商会
Coenen Leckie 差立ベルナル・エカール・
ロー宛 [図-11]

1868 年 7 月 17 日クーネン・レッキー商会
差立→ロンドン局→9 月 7 日仏横浜局→ベ
ルナル・エカール・ロー商会着

(書簡文面・仏語全文) 以下の通り発注いた
します：

奥州・等級 1-3 上質 30/15(?) 26/-

甲州 1-1.5 18/26ds 29/6 2-3 上質緑 24/-
25/-

仙台 1 上質白 29/-30/- 2-3 24/6-25/6、
増田 上質 23/- 24/-。

御社から弊社に保証金預託と引き換えに有効
期間 6 カ月金額 3 000 ポンドの信用状を本
翰に同封いたします。有益にご使用願います。
クーネン・レッキー商会

書簡 19 (到着便) マルマゼ・ピリヤンツ商会
Malmazet Piryantz & Cie. 差立 ロー商会宛

1873 年 2 月 1 日 マルマゼ・ピリヤンツ
商会差立→リヨン局→3 月 23 日仏横浜局→
ロー商会着

(書簡文面・仏語要旨) 1 月 24 日付弊簡写を
同封する。請求書および貴地ヴァルマル・
ショーエン・ミルスン商会

Valmale, Scoene & Milsom 作成の越前産生糸
28 種の等級区分通知書を送付した。リヨン
やロンドンの価格に比べ御社の横浜価格はひ
じょうに高い。従って括 [註：生糸の束] で
は 10 パーセント、奥州産ではそれ以上の損
失が見込まれる。

従来、消費量が散々だった奥州産はスカー
フ用以外には使用されない。奥州産はどこで

も人気がない。生糸屑も低価格で各地から照
会されている。

書簡 20 (到着便) エヴェック商会 Evesque &
Co. 差立 ロー商会宛

1873 年 8 月 22 日 エヴェック商会差立→
リヨン局→10 月 8 日 仏横浜局→ロー商会着
(書簡文面・仏語要旨) 当地の取引は相変わ
らず低調で回復の兆しが見えず、価格は下降
の一途。弊社では収穫前の価格に戻したが、
生地は売上不振で嘆かわしい状態にある。低
価格の状況下、製造所が購買意欲を取り戻す
ことを期待している。中小零細企業が危機
に晒されることをひじょうに心配している。
御社のすべての日本製品については、この 2
週間何も出来なかった。顧客の一人が御社の
生地を精査したところ汚れが酷く、他所で、
しかも 67 というひじょうに安い値段にまけ
させて手当した。弊社にも値引要求あれば同
価格を受けたのだが。

書簡 21 (差立便) ロー商会差立 プロスペ
ール・デュガ Prosper Dugas 宛

1874 年 4 月 14 日 ロー商会差立→仏横
浜局→1874 年 5 月 28 日リヨン局→プロス
ペールデュガ着

(書簡文面・仏語全文) 3 月 30 日付弊簡を
確認いたします。当地市場は堅調で取引は活
発、少なくとも在庫を売りつくすことが出来
るでしょう。ここ 2 週間の取引は約 800 梱
の在庫は別として 500 梱に達しました。蒸
気船で 300 梱を輸送いたします。生糸は引
き続き需要がありますが、販売中のものの品
質が芳しくなく止むを得ず選択肢をより多く
して、比較的安価な奥州産を取ることにいた
しました。下記の通り見積いたします。

前橋・信州産：等級 1 \$ 630-650、1,2 \$ 600-630、1,2,3 \$ 590-600、2,3 (稀な等級区分) \$ 570-580、3,4 (低品質) 500-560。

奥州：等級 1 \$ 630-650、1,2 \$ 600-620、1, 2, 3 \$ 590-600、2,3 \$ 550-560、3,4 \$ 500-520、? 420-430、

仙台：等級 1,2 \$ 440 (中低品種) \$ 400 (需要なし)。

上記は固定価格です。良品質を見つける難しさを考えると、当地の相場は貴地の相場より高値で、多くの場合、卸売商は値上げを要求します。これが今まで成功しなかった原因でもあります。内陸からの、特に底をついているように思われる生糸産地からの入庫量は少なくなりました。奥州ではさらにその傾向が強くなっており、上質物は特に貴重です。要するに収穫期が終わりに近づいており、もはや輸出に大きく貢献することは出来ません。実際、今日までの輸出量は 13 000 梱で、

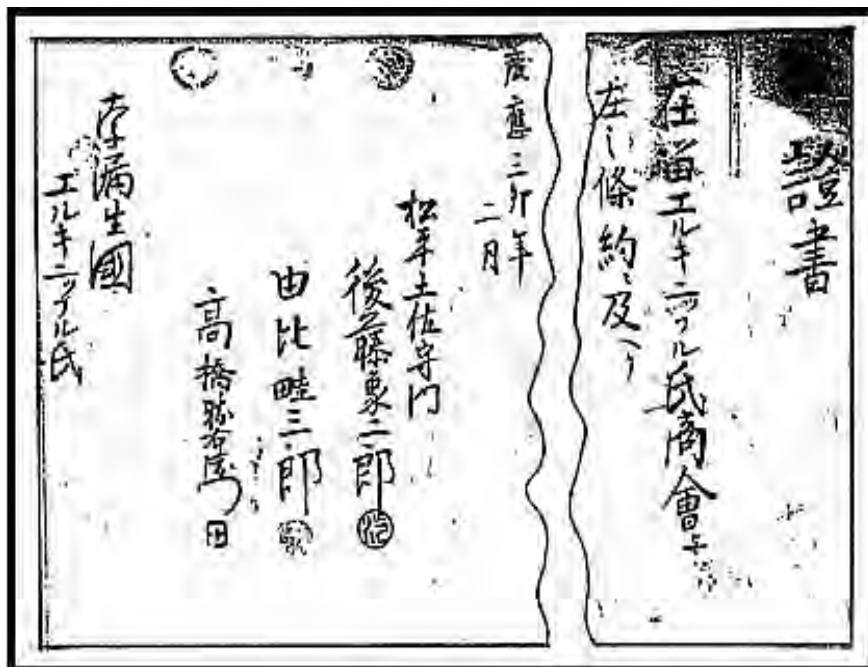
仮に 14 000 梱を達成出来ても、それを上回ることはないでしょう。生糸屑：屑物はまったく不活発で、卸売商は市場で販売するより彼ら自身で扱う方が利益大と考えていますが、弊社では引き続き他の製品にはいっさい手を出す積りはありません。為替相場：終値は下記の通り、

ロンドン 6 カ月先物銀行レート 4s 37/8 d、信用状 4s 41/4 d、パリ 6 カ月先物銀行レート 5.47fr、信用状 5.521/2fr。

書簡 22 (到着便) ブランシャール商会 J.Blanchard 差立 ロー商会宛

1874 年 8 月 29 日 ブランシャール差立 →マルセイユ局→10月16日仏横浜局→ロー商会着

(書簡文面・仏語全文) 今月 1 日付弊簡を確認すると共に、6 月 30 日貴簡ありがたく拝誦したことお伝えいたします。先のご報告以降、雑貨商品の状況に変化はありません。御



[図-12] キニッフル商会と松平土佐守内との契約書 (株) イリス所蔵

社にご連絡済みの相場価格は名目に過ぎず、貴地の産品もルヴァン Levent [註：中東シリアの港町] など他地域の産品も需要は皆無です。低級雑貨品について漠然と考え、穴あき小鉢など幾つかの種類の取扱いを考えれば、迷いから覚めるのではと期待していましたが、所詮は一時的な幻想に過ぎませんでした。現在、取引の低調さからも抜け出せておりません。今月の売上：支那産・白色フリゾン @ 9.00 フラン x 1 000kg 支那産・繭並品 @ 3.25 フラン x 1 000kg、印度産・絹織物並品 @ 6.50 フラン x 10 箱

クニフラー商会 L.Kniffler & Co.

(会社概要) クニフラー商会は開港当時の日本経済、文化、教育に多大な影響を及ぼした。「その時の横浜というものは、外国人がチラホラ来ているだけで、掘立小屋みたような家が諸方にチョイチョイ出来て、外国人が其処に住まって店を出している。其処へ行ってみたところが、一寸も言葉が通じない。此方の言うこともわからなければ、彼方のいうことも勿論わからない。店の看板も読めなければ、ビンの貼紙もわからぬ。何を見ても私の知っている文字というものはない。英語だが仏語だが一向わからぬ。居留地をブラブラ歩くうちに、ドイツ人でキニッフルという商人の店に打ち当たった」。これは福沢諭吉の『福翁自伝』(岩波文庫版) の一節でオランダ語がまったく通じず、蘭学を止めて英学を志すことになる有名な下りである。司馬遼太郎の「竜馬が行く」では、後藤象二郎とキネブルとの銃千丁契約の様子が描写されている。キニッフルやキネブルは当時の和訳表示だった。(株) イリス所蔵のエルキニッフル商会と松平土佐守内、後藤象二郎ほか

との蒸気船に関する契約写を同社のご厚意で [図 -12] に掲載する。ハンザ都市出身のルイス・クニフラー Louis Kniffler は 1852 年バタヴィアに派遣されていたが、日米通商条約の締結を知って、日本との貿易を目指し、1859 年初頭に長崎に着いた。若いギルデマイスター M.H. Gildermeister と共に同年 7 月 1 日長崎でオランダの保護下クニフラー商会を創業した。ギルデマイスターは日本に滞在した 1857 年から 1868 年まで、詳しい日本事情をブレーメンに送っていた。その書簡が今日まで保管されている。ギルデマイスターとクニフラーとの出会いなどは、生熊文・編訳の「ギルデマイスターの手紙・ドイツ商人と幕末の日本」(有隣堂 1991 年刊) に詳しい。クニフラー商会に在籍したモルフ H.C.Morf, エヴァース August Evers、レッデリーン Gustav Reddelien、ラスぺ M.Raspé らは立派なドイツ商人に育ち、やがて同商会から独立し、それぞれモルフ商会、シモン・エヴァース商会、レッデリーン商会、ラスぺ商会を設立した。シモン・エヴァース商会はその後レイボル株式会社 Leybold Co.Ltd. となり、2005 年に創業 100 周年を迎え、現在さらに発展し活動が続けている。前掲「横浜居留地の諸相」の向井晃氏「イリス商会」によれば、1880 年 52 歳のクニフラーは自分の創立した商会を去ることになった。その時期、クニフラー商会にはデュセルドルフのクニフラー、レッデリーン、横浜のイリス Carl Illies の 3 パートナーがいた。年長の 2 人から厚い信頼を受けていたイリスが同商会の経営を委任され、従業員、地所、事務所、倉庫、取引先まですべてを受け継いだ。なお、イリスは 1867 年版名簿から掲載されるようになった。クニフラー商会の名称だけは

代表者イリスの下で 残されるが、クニフラーがデュセルドルで没した 1888 年 3 月を機にクニフラー商会の名前は抹消された。イリス商会は第二次世界大戦中には本国との連絡は途絶えたが日本での営業を継続した。クニフラーとギルデマイスターが長崎でクニフラー商会を創業した 1859 年をイリス商会の創業年としており、創立 150 周年記念式典が 2009 年に横浜で挙行された。筆者も式典にご招待いただいた。なお、日仏郵便史の第一人者・松本純一氏が式典会場で講演された。同社は現在本社を東京に移し、商社として更に発展し確固たる地位を築いている。なお、なお 2002 年 7 月 1 日、(株) イリスに社名変更した。同社の元常務取締役・佐藤 剛氏のご厚意で同社オランダの取引先に蘭語判読と蘭文英訳していただいた。



〔図-13〕日本シーベルヘグナー(株) 創業者フレンワルドとシイベル (同社創立 125 周年 1989/1990 年度報告書掲載肖像。同社の許可を得て転載)

書簡 23 (到着便) ボンネッカーゾネン差立クニフラー商会宛

1866 年 5 月 8 日 ボンネッカーゾネン差立→アムステルダム局→7 月 2 日仏横浜局→クニフラー商会着

(書簡文面・蘭語部分英訳) [第一頁欠落]

・・・依頼を受けたことに対して今日までさしたる成果を見ておりませんでした。弊社では、要求、それはまた薬品の特徴を示しているのですが、要求を尊重し、その結果、より高い価格が認められ、いくらかの利益を上げて委託商品を販売する機会に恵まれることがいずれ分かることを希望いたしております。本件にかかる御社からの前向きなご返事を期待いたします。

書簡 24 (差立便) クニフラー商会差立ルイナール父子商会宛

1866 年 8 月 10 日 在長崎、クニフラー商会差立→8 月 18 日仏上海局→10 月 5 日ランス局→ルイナール父子商会着

(書簡文面・仏語全文) 当月 1 日付弊簡を確認し、本状により再度値引を提示させていただきます。品番 812 を 525 ピアストル値引き。ボーレンハーゲン商会 Bollenhagen & Co. [註：ボーレンハーゲンがハンブルグに設立した商社。同社にいたクニフラーをバタヴィアに派遣した] で 3 カ月の後払い。弊社の相場には特に変わりはありません。取引は極めて厳しい俥で、欧州から相次いでもたらされる由々しき状況の影響をまともに受けています。

開港当時の在日欧州系商館発着書簡 3

に続く

切手でたどるリトアニア国家回復(独立)100年

(第3回)

荒木 寛隆

11. リトアニア制憲会議と憲法制定

リトアニアが領土内で地位を固めると「中央政府の組織」問題が浮上した。独立戦争が長引いたために、制憲議会選挙の実施は遅れて1920年4月14～15日となったが、選挙権は、宗教、民族、性別にかかわらず、21歳以上のリトアニア国民全員に与えられていた。

リトアニア現代制度100年シリーズ第3集(図30)は1920年に始まった制度等を探り上げている。図30.上段左切手はオペラ劇場100年記念の切手である。1920年にリトアニア初のオペラ劇場が創建された。初演はヴェルディ作の歌劇「椿姫」で、ヒロインのヴィオレッタ役のGalauniene Alfradasと恋人アルフレッド役のKipras Petrauskasな

どが演ずる華やかな舞台写真である。

図30. 上段右切手はリトアニア防衛100年として国境防衛連隊の初代のリーダーであったPetras Kubiliūnas(1898-1946)の肖像写真である。彼はヴィルニユスの陸軍学校を卒業後、第一次世界大戦中はリガのラトヴィア大隊の軍事作戦に従事していたが、1919年8月にリトアニア軍へ動員されて同年12月までソヴィエト・ボルシェビキ赤軍戦に従軍していた。1920年2月にはリトアニア初の国境防衛連隊に異動し、1923年には戦車大隊長となったが、ソ連戦以降はリトアニアの軍事教育の改革や高等軍事教育学校の設立などに貢献した。

図30. 下段切手2枚は制憲会議100年記念である。左側ラベルは制憲会議メンバーの写真で、右側の切手は1920年5月15日に第1回制憲会議会場となったカウナス市立劇場の第一次世界大戦以前の姿を写した写真である。

制憲会議はスメトナ大統領主導の下で進められ、1922年8月1日にリトアニア国家憲法を可決した。憲法はフランス第三共和制の民主主義をモデルとし、リトアニアは独立した民主主義共和国であり、主権は国民にあるとされた。同時に歴史上初めてリトアニア語が国の公用語となった。国旗はリトアニア大



図30. リトアニア現代制度100年シリーズ第3集
(2020.03.06 発行)



図 31. 加刷切手 (1939.10.28 発行)



図 32. 正刷切手 (1940.05.06 発行)



図 33. Auksinas 通貨建て最終切手 (1922.09.27 発行)



図 34. Litas 通貨建て加刷切手 (1922.10.01 発行)



図 35. Litas 通貨建て普通 (正刷) 切手 (1923.02.24 発行)

公国の支配者の旗ではなく三色旗 (黄、緑、赤) とされたが、大公国の国章であるヴィーティス (Vytis/ 追走者の意) が国章として保持された。但し、ポーランドに占領されていた (旧首都) ヴィルニウスの回復を考慮してリトアニアの首都名は明記されなかった。首都ヴィルニウスをポーランドから取り戻したのはソ連に再度占領される直前の 1939 年 10 月 10 日となる。(図 31. 及び図 32. ヴィルニウス返還記念切手)

更に農業国リトアニアでは、国の主要な資源である土地の所有権が重要課題であった。当時のリトアニアでは大地主の大半は親ポーランド的な「ポーランド語を話すリトアニア人」で、彼らは国土の 26% を所有し、大地主が耕地の半分を所有していた。政府は農民の支持を得るためには大地主が所有する土地を再分配するしかなかった。

1922 年 2 月 15 日に農地改革法が採択された。農地改革の結果、古びた村落はなくなり、農民は 1 軒の農家の周りに農地を作るようになり、農業の近代化が始まった。

ところで、独立宣言後もドイツ通貨オストマルクが「アウクシナス (1Auksinas= 100skatikas)」と云う名で流通していた。リトアニアでは戦後不況で通貨の価値が下がり経済に悪影響を与え、インフレの影響もあって政府は対応を迫られていた。制憲会議は 1922 年 8 月 9 日、通貨単位法を制定し、金兌換性の有るリタス (Litas) をリトアニアの通貨とした。新旧通貨対応切手を左下 (図 33、34、35) に表示した。

リタスは 1922 年 10 月 1 日に導入された。
(1 Litas = 100 centas = 純金 0.150462g、
10 Litas = US\$ 1.00)

12. ヴィルニウス問題とクライペダ帰属問題

リトアニアは周辺諸国に較べて軍事面が弱くリトアニア人が多数を占める地域を全て統一することが出来なかった。ベルサイユ条約の講和会議中も特にポーランドとの領土を巡る争いは先鋭化し、軍事的対立にも進展した。1920年10月7日ヴィルニウスをリトアニア領とする境界線を両国軍の間に設ける暫定講和条約(スヴァウキ条約)を締結した。しかし2日後の10月9日にはポーランドのルツェアン・ジェリゴフスキ将軍が率いる部隊が、表向きはポーランド政府の指示を無視して首都ヴィルニウスに進軍し、「中央リトアニア」(図36)の建国を宣言した。

この「ジェリゴフスキ反乱」は、実はポーランド国家元首ユゼフ・ピウスツキの計画によるものであり、地元住民による反乱であるとの印象を与え、欧米諸国からの非難を避けるために実行されたものである。然しながら、非力な国際連盟にはこの既成事実を取り消す力はなかった。更に、1922年1月8日にはポーランド軍占領下で住民投票を実施し、「住民の意思による」としてポーランド領に吸収してしまった。ヴィルニウスがリトアニア領に復活するのはソ連に編入される直前の1939



図36. 中央リトアニア(赤枠)(1920.10.09～)
ポーランド領(1922.01.08～1939.10.09)

年になってからである。

尚、中央リトアニア時代には独自の切手(図37、38/以上切手)、次頁図40/実通便)を発行し、ポーランド領時代にはヴィルニウス市内の建築物(夜明けの門)を題材にした切手(図39)が発行されている。

1921年9月22日、リトアニアは欧米主要国に承認されるよりも先に国際連盟に加盟した。直後に、ヴァチカン、アメリカ合衆国、スペイン、オランダ、スカンディナヴィア諸国がリトアニアを法的に承認した。翌1922年12月20日、連合国のフランス、イギリス、イタリア、日本がこれに続き、簡単な道程ではなかったものの、遂にリトアニアがヨーロッパの一人前の国となることが出来、リトアニア大公国の歴史的分割は幕を閉じた。

ヴェルサイユ講和会議の舞台裏でリトアニア代表团はリトアニア人10万人とドイツ人50万人が住む東プロイセン領の土地(次頁・図41)をリトアニアに譲渡してリトアニアがクライペダ(独名メーメル)からバルト海



図37 普通(一番)切手(1920.10.02発行)



図38(左)普通切手(1920.12.---発行)



図39.(右)ポーランド切手(1925.---発行)



図 41. クライペダ (独: メーメル) 地域 (赤枠)

にアクセスできるよう求めた。敗戦国ドイツは「連合国側の陰謀を抑えることが出来るだろう」との判断からリトアニア案にそれほど声高に反対しなかった。それでもリトアニアの要求は通らなかった。その結果、ヴェルサイユ条約第 28 条でクライペダ地方はドイツから切り離されたが、連合国側のフランスの管理 (信託統治) 下に置かれることになった。連合国がクライペダ地方をドイツから切り離すことで、「いかなる民族の自決権も侵害し

てしていない」ことと、「クライペダ港がリトアニアにとって唯一の海港である」ことを講和会議でフランス・クレマンソー首相が説明した。この措置によりリトアニアが国家承認を獲得した後に「クライペダ地方の領有権を主張する可能性」が残された。然しながら、フランスはポーランドもクライペダの地位の確保を求めたことから、「リトアニアがポーランドと統一した場合に限りクライペダをリトアニアに割譲する」ことを約束

するだけだった。

国際連盟や大使会議を通じてクライペダを獲得することが出来ないことを確信したエルネスタス・ガルバナウスカス首相はクライペダを武力により掌握することを決断した。小リトアニア地方に住むリトアニア人を生活苦境と差別から解放するようリトアニア狙撃兵連合から嘆願させるとともに、地元住民の蜂起であると見せかけるために 1,000 人を超える志願兵が一般のリトアニア市民の服装で 1922 年 1 月 9 日から 10 日にかけての夜に

クライペダ地方に侵入した。リトアニア政府は地元ドイツ人住民が反対しなかったことを理由に、これは地元住民の蜂起であるとした。1923 年 1 月には小リトアニア救済復興委員会がクライペダ



図 42.(左) MEMEL 加刷切手 (1920.07.07 発行)



図 43.(中) Klaipeda 加刷切手 (1923.02.07 発行)

(Panevezys 印刷切手に独通貨マルクを加刷)



図 44.(右) リトアニア通貨加刷切手 (1923.04.23 発行)

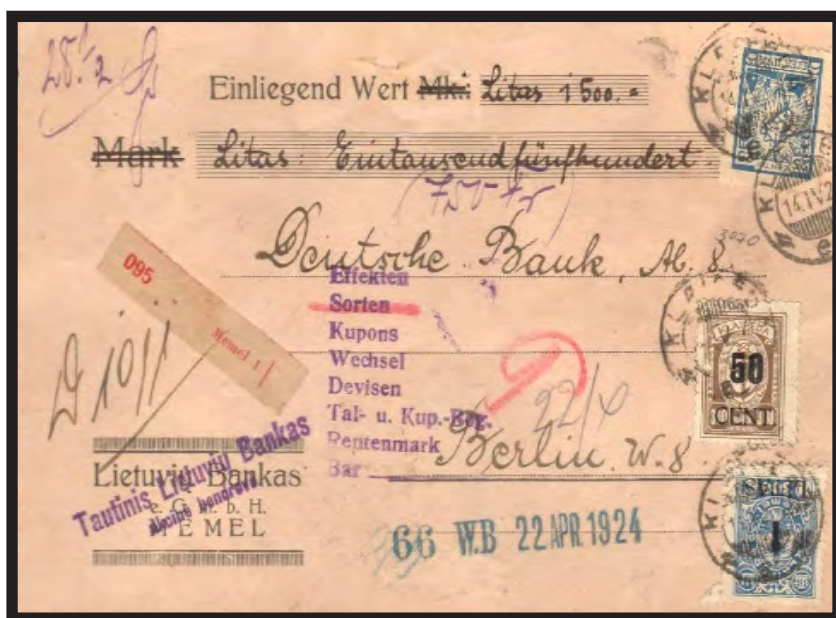


図 45. 1924 年クライペダからベルリン宛の現金書留重量便実通便
(Tautinis Lietuvių Bank から Deutsche Bank へ 1,500Litai の現金送金)
1923 年 6 月発行のクライペダ加刷切手 2 種 2 枚と 1923 年 2 月発行の
リトアニア普通切手 1 枚貼付

地方を自治区としてリトアニアに加えることを決議し、軍事及び財政支援をリトアニア政府に求めた。同年 1 月 24 日にリトアニア国会はこの要求を承認し、連合国側は 2 月 17 日の大使会議でクライペダの主権をリトアニアに委譲した。そして 1924 年リトアニアと大使会議参加国のイギリス、フランス、イタリア、日本がメーメル(クライペダ)憲章に署名し、クライペダ地方はリトアニアの主権が完全に及ぶ自治国となり、リトアニアは念願の不凍港を手に入れることが出来た。最後にフランス信託統治時代のクライペダ(旧メーメル)切手(図 42)、リトアニア領時代の切手(図 43、44)と書留実通便(図 45)をご覧ください。(完)

(出展、参考文献)

1. The Baltic Revolution(Antanas Lieven /Yale University Press New Haven and London)
2. The History of Lithuania(Zigmantas Kiaupa /UAB "Vilniaus Spauda" / Lithuania)

3. Lietuva Specializuotas Pašto Ženklu Katalogas (1918-2012, 2012-2017 /Antanas Jankausakas /Sausdino UAB "BALTOprint" / Lithuania)
4. バルト三国 (ハスカル・ロ著、磯見辰典訳 / 白水社)
5. リトアニア — 小国はいかに生き抜いたか — (畑中幸子著 / 日本放送出版協会)
6. リトアニア — 民族の苦悩と栄光 — (ヴィルギリウス・チャイティス著・畑中幸子訳 / 中央公論社)
7. 回想録リトアニア — 厳しい試練の年月 — (ヨナス・ウルブシス・村田陽一訳 / 新日本出版社)
8. バルト三国の歴史 (アンドリス・カセツ著 / 小森宏美・重松尚共著 / 明石書店)
9. ポーランド・ウクライナ・バルト史 (伊藤孝之・井内徹夫・中井和夫共著 / 小川出版社)
10. バルト三国歴史紀行Ⅲ リトアニア (原 翔 / 彩流社)
11. リトアニアの歴史 (アルフォンス・エイディンズ他 3 名共著 / 梶さやか、重松尚訳 / 明石書店)
12. リトアニアを知るための 60 章 (櫻井映子編著 / 明石書店)

リトアニア共和国の初期独立史

年 月 日	出 来 事	図 No.
1883 ~ 1886	ヨーナス・ヴァサナビチウス (Jonas Vasanavičius) リトアニア月刊誌「AUSZRA(Lit./AUŠRA/ 夜明け)」創刊 (東プロセン印刷)	9
1889.01 ~1905.12	ヴィンカス・クディルカ (Vincas Kudirka) リトアニア語月刊誌「VARPAS (鐘)」創刊 (ワルシャワ・ポーランド印刷)	9
1904.05.07 11.28	ロシアの「ラテン文字によるリトアニア出版物禁止令」廃止 リトアニア初の合法的なリトアニア語&リトアニア印刷の日刊新聞「VILNIAUS ŽINIOS」(ヴィルニウス・ニュース) 創刊	10
1905.12.04	(~12.05) ヴィルニウス大議会 (Didysis Vilniaus Seimas) 開催	10
1905 - 1907	ロシア第一革命	
1907	リトアニア科学協会創立 (04.07)、リトアニア人芸術協会創立 (創始者ヨーナス・ヴァサナビチウス)	9
1914-1918	第一次世界大戦	
1915.06~09	ドイツ軍リトアニア占領 (1915-1918)	13-16
1917.09.18	(~09.22) ヴィルニウス会議 (Vilniaus Konferencija) 開催	10.17
11.07	ドイツ軍指導の下でリトアニア独立国家復活宣言 (リトアニア国家評議会) をするも、最終的にドイツ政府拒否	
11.16	ロシア十月革命勃発し、ソヴィエト連邦発足	
1918.02.16	現代リトアニア独立宣言	19
	現代リトアニア共和国の軍事・外交・裁判制度・政府の基盤固め	21
03.30	ボースカウト連盟創設	22
11.02	女性参政権批准	23
11.03	(~1919.08.11) ドイツ 11 月革命	
11.11	アウグスチナス・ヴォルデンマラス (Augustinas Voldemaras) がリトアニア初の首相就任	20.21
11.30	「リトアニア郵便」設立	3
12.27	リトアニア一番切手発行	24
1918.12~ 1919.08	第一次リトアニア独立防衛戦争 ・・・ソヴィエトロシア赤軍 (ボルシェビキ) との防衛戦	25
1919.04.04	アンタナス・スメトナ (Antanas Smetona) リトアニア初代大統領に就任	18.26
5.03	リトアニア赤十字創設	28
6.27	リトアニア狙撃兵連盟 (Lietuvos Šaulių Sąjunga) 創設	27

リトアニア共和国の初期独立史 続き

年 月 日	出 来 事	図 No.
6.28	ベルサイユ条約締結	
7.12	タダス・イヴァナウスカス (Tadas Ivanauskas) 動物博物館創設	29
1919.06 ~ 12	第二次リトアニア独立防衛戦争 ・・・ベルモント軍 (Bermontians/ ソヴィエト白軍とドイツ軍残兵の混成軍) との防衛戦	25
1920	リトアニア歌劇場完成 ベルディ作オペラ「椿姫」初演	30
1920.2	ペトラス・クビリューナス (Petras Kubiliūnas) 国境防衛隊司令官代理就任	30
4.14	(~04.15) 制憲会議選挙	30
7.12	ソヴィエト・ロシアと講和条約締結	
7.14	赤軍 (ボルシェビキ) 首都ヴィルニウス占領	25
1920.08 ~ 12	第三次リトアニア防衛戦争 ・・・ポーランドとの首都ヴィルニウス及びヴィルニウス地方領有をめぐる防衛戦	25
10.09	ポーランド軍ルツィアン・ジェリコスキー将軍が首都ヴィルニウス及びヴィルニウス地方占領、「中央リトアニア」建国宣言	31,32 37-40
1921.09.22	国際連盟加盟 ヴァチカン、米国独立承認	
12.2	連合国のフランス、イギリス、イタリア、日本等が独立承認	
1922.02.15	農地改革基本法制定	
8.01	制憲会議でリトアニア憲法可決	30
10.01	リトアニア新通貨「リタス (Litas)」導入 (1 Litas = US\$10.00)	33-35
1923.01.10	リトアニア軍勇士、狙撃兵、市民等がクライペダ (独名メル) 占領	
1.24	リトアニア国会がクライペダ (独名メル) のリトアニア領編入承認	41~45

リトアニア独立 100 年関連切手と絵葉書

発 行 日	発 行 名 称	備 考	図
2016.11.05	リトアニア国家復興 100 年 第 1 集 (リトアニア語新聞創刊)	S/S(3)	9
2017.02.11	リトアニア国家復興 100 年 第 2 集 (独立運動)	S/S(3)	10
7.14	リトアニア国家回復 100 年 (記念絵葉書 / 印面なし 第 1 回)	絵葉書 5	
9.22	ヴィルニウス会議 100 年 (記念絵葉書 / 印面なし)	絵葉書 1	17
2018.02.09	リトアニア国家復興 100 年 第 3 集 (独立宣言)	S/S(2)	19
2.10	リトアニア国家復興 100 年 (記念絵葉書 / 印面なし 第 2 回)	絵葉書 6	
3.30	ボーイスカウト連盟 100 年	1	22
6.29	リトアニア郵便 100 年 (世界の中のリトアニア人)	S/S(6)	3
10.12	現代リトアニア制度 100 年 第 1 集 (軍事・外交・裁判・政府)	S/S(4)	21
10.26	女性参政権 100 年	1	23
11.30	リトアニア切手発行 100 年	1	24
2019.01.11	現代リトアニア制度 100 年 第 2 集 (国家監査・狙撃手連盟)	S/S(3)	27
2.01	リトアニア独立闘争	1	25
4.04	アンタナス・スメタナ (初代) 大統領就任 100 年 (印面なし)	絵葉書 1	26
5.03	赤十字 100 年	1	28
7.12	タダス・イヴァナウスカス動物博物館 100 年 (印面 0.75€)	絵葉書 1	29
2020.03.06	現代リトアニア制度 100 年 第 3 集 (制憲会議・劇場)	S/S(3)	30

(注) S/S のカッコ内は切手枚数を示す

稲門フィラテリー 20 周年記念切手展 準備状況

昨年開催予定だった「稲門フィラテリー 20 周年記念切手展」については、本年 11 月 12 日から 14 日、目白の「切手の博物館」にて開催を予定しております。新型コロナウイルスの感染者が未だ終息せず、先行きの見えない状況ではありますが、感染対策を施した上での開催調整を進めております。小型印、記念カバーについても準備を進めています。出品を予定されている皆様はもちろん、会場の設営や会期中の受付等、皆様のご尽力のもと進めてまいりたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

「早稲田学報」には、以下の開催案内を掲載いただく予定です。

稲門フィラテリー 20 周年記念切手展



開催日時： 2021 年 11 月 12 日～14 日 10:00～17:00

開催場所：切手の博物館（東京目白） 3 階展示室

〒171-0031 東京都豊島区目白 1-4-23

山手線目白駅から学習院大学と線路沿いに
高田馬場方向へ徒歩 3 分。



学内サークル「早大切手研究会」を母体として発足した稲門フィラテリーも、20 周年を迎えました。

それを記念して、上記の通り「切手展」を開催することになりました。稲門フィラテリーには、世界的な切手収集家が多く所属し、毎年、世界中のどこかの切手展で、賞を獲得しております。それらの会員の郵便に関する研究と収集活動の一端を、是非とも皆様に御覧頂き、ご意見、ご批評を頂戴したく、ご案内申し上げます。会の活動の中には、小中学生を対象にした切手教室と、新宿北郵便局のご協力で実施している開催数が 150 回を超える一般向けの切手教室がございます。

最近、沢山の楽しみが増え、切手に関する興味が失われかけております。この切手展を機会に、再び興味を持って頂けると幸いです。

稲門フィラテリー URL <http://www.talcen.com/tofila.html>

会員の他郵趣誌寄稿記事

誌名	月号	執筆者	表題	発行元
郵趣	2021年4月号	池澤克就	20世紀美術を代表する世界的版画家 棟方志功の世界	日本郵趣協会



ヨーロッパ切手

ヨーロッパ共同体の発展

表 1. 欧州共同体と郵便通信事業の推移

[illegible]

郵便についても政治面の共同化の動きと同じような動きである。しかし、切手発行国と EC、EU 加盟国は一致しないことからかなり政治的共同体とは異なる運営がされてきた。欧州石炭鉄鋼共同体 (ECSC) 発足後 5 年の 1956 年に郵便共同体組織は Postal Administrations of Member countries of The European Communities (欧州共同体郵便機関) ができ、1960 年には電気通信も含んだ組織 CEPT となった。しかし、1993 年に CEPT が電気通信に重点を移行するのに従い、郵便事業のみの組織 Post Europ Association になった。この間、ヨーロッパの統合と協力を求める願望の具体的なシンボルとしてヨーロッパ切手を一定の統一した方針で発行する舵取りを担った。

ヨーロッパ切手の発行

ヨーロッパ切手は共同体組織のイニシャル、マークの記載の有無と切手デザインの統

一、共通テーマの採用の2点で大きく整理ができる。

◎ 1956年から1959年

統一デザインと EUROPA

◎ 1960年から1973年

統一デザインと EUROPA、CEPT か



◎ 1974年から1992年

統一テーマのデザインと EUROPA、CEPT

か  を記載

◎ 1993年以降

統一テーマのデザインと EUROPA の表示と整理できる。統一デザインが切手に描かれた1956年から1973年までに発行された切手を年ごとに発行国の推移、例外のデザインを整理したのが表2である。

表2-1. 1956年から1973年の統一デザインヨーロッパ切手 (1956-1961年)

年	発行国	発行国の増減	切手数	統一デザイン	例外	切手
1956	6	Belgium, France, Germany, Italy, Luxembourg, Netherlands	13	Europa という単語の6文字の形の塔	0	
1957	8	+2 Saarland, Switzerland	18	農業と産業を通じた平和と福祉の共通テーマ 統一無し		
1958	8	-1 Switzerland +1 Turkey	17	ヨーロッパの文字 E の上を飛ぶ鳩	1	
1959	8	-2 Saarland, Turkey +2 Austria, Switzerland	15	4つの円と4つの正方形が交互になった連動キーチェーン	2	
1960	20	+12 Denmark, Finland, GB, Greece, Ireland, Iceland, Liechtenstein, Norway, Portugal, Spain, Sweden, Turkey	36	Europa という単語の文字 O は、1960年のCEPTメンバーごとに1本ずつ、19本のスポークを備えたローマの郵便バスの車輪	2	
1961	16	+2 Cyprus, San Marino, -6 Austria, Ireland, Norway, Finland, San Marino, Sweden	34	定型化された鳩は、19の個々の鳩で構成	4	

- ★1956年発行の6ヶ国はオランダを除いた5ヶ国は2017年までの全62年間発行。オランダは44年間発行。
- ★トルコは3年だけ未発行で59年間発行
- ★ザールランドは1957,58年にドイツと同じデザインで発行
- ★デザインに意味を込められた数字とその年の発行国数と一致しない。
- ★毎年統一デザインでない切手が発行されている。

表 2-2. 1956 年から 1973 年の統一デザインヨーロッパ切手 (1962-1970 年)

年	発行国	発行国の増減	切手数	共通デザイン	例外	切手
1962	18	-1 Great Britain, +3 Monaco, Ireland Norway,	48	加盟国を表す 19 の葉を茂らせた樹	5	 Spain San Marino Liechtenstein Monaco
1963	19	+1 Finland	36	U の字型 4 つで構成された面に CEPT を象眼したクロスデザイン	5	 Liechtenstein San Marino Portugal Monaco Spain
1964	19	+ - 0	36	22 枚の加盟国の花びらを持つ花	2	 San Marino Liechtenstein
1965	19	-1 Austria +1 Finland	36	木の小枝に CEPT の実が実る	3	
1966	19	-1 Finland +1 Andorra Fr.	37	穏やかな海に CEPT の着実な進歩を象徴する船	2	 Spain San Marino
1967	19	+ - 0	35	CEPT ホイールには 22 個の歯があり、CEPT の 1967 メンバーを 1 本の歯として表現。	1	
1968	18	-1 Norway	35	CEPT の文字を柄に持つキーは、欧州連合への扉を開くことを表す	0	
1969	26	+8 Austria Denmark Finland G.B. Yugoslavia Norway Sweden Vatican	50	コロネードの両側に EUROPA & CEPT を挿入	0	
1970	19	-7 Austria Denmark Finland G.B. Norway Sweden Vatican	41	24 の糸で織られた太陽	1	

表 2-3. 1956 年から 1973 年の統一デザインヨーロッパ切手 (1971-1973 年)

年	発行国	発行国の増減	切手数	共通デザイン	例外	切手
1971	21	+2 Finland Malta	44	リンクに CEPT を含み、リンクの 1 つは EUROPA の 'O'	1	
1972	22	+1 Andorra (Sp.)	46	通信電波波形と星のデザイン	1	
1973	24	+2 Norway Austria	50	ポストホーンを模した 3 つの矢印のデザインは、郵便、電信、電話を表します	3	

- ★統一デザインでない切手を発行している国に小国が多い。リヒテンシュタイン、サンマリノ、モナコなど。
- ★フランスは統一デザイン切手と教会を描く切手の 2 種を発行し、スペインは宗教関連意匠の切手を発行している。
- ★ノルウェー、イギリス、オーストリー、フィンランドなどは発行がみられない年が多い。

次に、年毎に統一テーマを設定し、各国がデザインして発行する 1974 年以降の推移の一部は表 3-1 から 3-5 の通りである。

表 3-1. 1974 年からの統一テーマヨーロッパ切手

年	統一テーマ	加盟国地域数	発行国地域	切手種類
1974	彫刻	23	21	45
1975	絵画	24	22	46
1976	手芸	27	25	54
1977	風景	28	26	52

表 3-2. 1974 年からの統一テーマヨーロッパ切手

年	統一テーマ	加盟国地域数	発行国地域	切手種類
1978	記念碑	30	28	61
1979	郵便・通信	31	29	65
1980	著名人	32	30	63
1981	伝統事項	35	33	65
1982	歴史行事	35	33	66
1983	発明	35	33	65

表 3-3. 3-4 1974 年からの統一テーマヨーロッパ切手

年	統一テーマ	加盟国 地域数	発行国 地域	切手種類
1984	CEPT 25 周年	35	33	62
				
1985	ヨーロッパ音楽年	31	35	68
				
1986	自然保護	35	33	68
				
1987	近代建築	35	33	70
				
1988	輸送および通信	35	33	70
				
1989	子供向けゲーム	35	33	76
				
1990	郵便局	37	33	74
				
1991	航空宇宙	41	38	80
				
1992	アメリカ発見	42	39	94
				
1993	現代アート	46	45	102
				
1994	素晴らしい発見	49	47	104
				
1995	平和と自由	49	47	88
				

年	統一テーマ	加盟国 地域数	発行国 地域	切手種類
1996	有名な女性	52	51	93
				
1997	物語と伝説	54	53	98
				
1998	祭りと祝賀	57	54	91
				
1999	自然保護区と公園	57	54	96
				
2000	6 つ星の塔 (統一)	56	53	67
				
2001	水、自然の宝	57	54	89
				
2002	サーカス	58	56	90
				
2003	ポスターアート	58	55	91
				
2004	祝日	59	55	100
				
2005	美食	59	57	107
				
2006	若者から見る統合	56	110	
				
2007	スカウト 100 周年	58	115	
				

表 3-5. 1974 年からの統一テーマヨーロッパ切手

年	統一テーマ	加盟国地域数	発行国地域	切手種類
2008	手紙を書きます		60	121
2009	天文学		60	117
2010	子どもの本		59	118
2011	森林 - 国際森林年		58	114
2012	訪ねてみよう		60	107
2013	Post Europa20 周年 郵便車		60	119
2014	楽器 - 民俗楽器	不明	59	111
2015	懐かしいおもちゃ	不明	60	118
2016	ヨーロッパ切手 60 周年	不明	58	106
2017	城	不明	58	106
2018	橋	不明		
2019	国鳥	不明		

次に、ヨーロッパ切手 63 年間の国別、発行年、発行種類を一覧にしたのが表 4 と、図 1 である。この間、発行する国と地方は 6 から 64、発行切手は年間 13 種から約 120 種へと増加している。これには国際情勢の激動が反映されている。ソ連崩壊後独立した連邦構成共和国、東欧諸国の加盟、ユーゴスラビア解体後の独立国の加盟での増加である。64 の国、地方の中で EU 加盟国は 27 ケ国 (表 4 で国名水色枠表示国) である。逆に、消えた国にザール地方、クロアチア・セルボ、チェコスロバキア、ユーゴスラビアなどがある。

切手は加盟国増に伴う増加がみられるが、他の種類の切手の発行増とは異なり、発行 1 件当たり種類の発行はむしろ減ってきており、2 種類弱と落ち着いた発行である。最多発行はアメリカ発見がテーマの 1992 年ポルトガルがコロンブスの手前であろう小型シート 6 種と切手で 7 種の発行である (切手としては 17 種)。ポルトガルに限らず、新たな加盟国に小型シート発行が多いことが目立つようである。

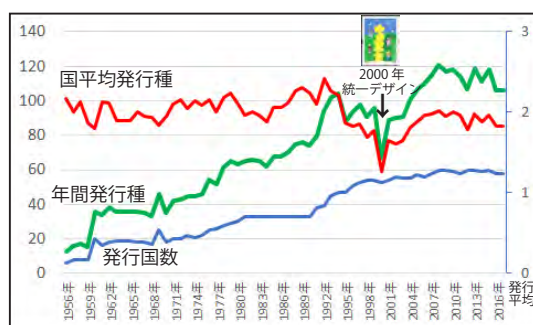


図 1. ヨーロッパ切手の発行推移

共通テーマに文化的な差を感じさせる Folklore 民間伝承、The Circus サーカス、Poster art ポスターアート等があり、更に、表で示すように切手デザインは各国の特徴がみられ詳しく比較、整理、検討すれば興味深いものがある。

MICHEL CEPT 2019 を参考に整理したのであるが、最初の 2 ページにかけて見慣れない切手が載っており、表題が Vorlauferausgaben となっている。直訳すれ

ば予備的問題、予備的課題の意味、ヨーロッパ統合への序章、足音とでも理解しておくとして、1949 年から 1956 年にかけて、イタ

リア、フランス、ルクセンブルグ、ドイツに
ギリシャ、トルコ、ザールランド、ベルリ
ンから発行された約 33 種の切手である。発

表4 ヨーロッパ切手63年間の国別、発行年、発行種類

[illegible]

電子版会報購読の方は拡大してご覧ください。



1951 年ルクセンブルグ 欧州連合による経済と社会の進歩
1956 年ルクセンブルグ 欧州石炭鉄鋼共同体



1955 年ドイツ 欧州復興会議



1950 年ベルリン マーシャルプランとドイツ産業博



1951 年ギリシャ マーシャルプランで電力復興



1953 年ベルギー 欧州評議会



1949 年イタリア 欧州復興プロ



1954 年トルコ 欧州評議会

Vorlauferausgaben とされた切手の一部

行内容に大戦後の欧州諸国のためアメリカが推進した復興援助計画 Marshall Plan という語と Progress through a United Europe、European-council の語が散見されるので EC、EU の基礎になることを発行目的とした切手であろう。

CEPT を調べていて新たな単語を見つけた。SEPAC という語である、

SEPAC は Small European Postal Administration Cooperation 小規模郵便行政協力グループとでも訳すのであろうか。メンバーはヨーロッパ内に独立した郵便行政を行っていること、さらに、The Post Office/Postal Administration must have a small home market with more than 50% of its Philatelic customers living outside its own country. と収集家の 50%以上が自国以外に住んでいる

小販売網を持っているというというような条件があるようだ。オーランド、フェロー諸島、グリーンランド、ガーンジー、アイスランド、マン島、ジャージー、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、マルタ、モナコ、ジブラルタル、バチカンの 13 の国と地方が毎年、全てではないが統一テーマに従い切手を発行している。



2013 年 動物

2014 年 花



2007 年 風景



2016 年 季節



2015 年 文化



2014 年 地方民具

更に、Nordan という統一テーマで発行されている切手の存在も知った。スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デンマーク。アイスランド、フェロー島、オーランド諸島、グリーンランドの 8 の国と地方の切手である。小型シートが多く発行されているようだ。各国とも切手を如何に購入してもらうか知恵を絞っているようだ。

編集子



2008 年 北欧の神話

早稲田大学開校式のはがき

池澤 克就

明治 15(1882) 年 10 月 21 日に創設された東京専門学校は、当初、創立者である大隈重信の別邸が東京府南豊島郡早稲田村に、また、校舎が同郡戸塚村にあったことから、「早稲田学校」「戸塚学校」と呼ばれていました。明治 25(1892) 年頃には、専門学校の別名として「早稲田学校」という呼称が一般に使われていたようです。創立して 20 年、東京専門学校は大学への昇格を機に、代表される早稲田の地名をとり「早稲田大学」と改称することになりました。明治 35 年（1902）年 3 月 28 日、早稲田大学への改称認可願が学則変更願と併せて文部大臣に提出され、同年 9 月 2 日、文部大臣は早稲田大学への改称を認可、同年 10 月 19 日には東京専門学校創立 20 周年記念式典および早稲田大学開校式が挙行されました。

この開校式に出席した人によって書かれた一枚のはがきを最近入手しましたので紹介したいと思います。

図 1 は葉書の宛名面です。消印は明治 35 年 10 月 20 日、局名は不鮮明ですが早稲田でしょうか。差出人は、牛込区早稲田南町五十一 川島亘方島田兵一郎とあります。宛名に「栃木県安蘇郡植野村 島田雄三郎様」とありますので、下宿先から親族あてに開校式への出席を報告したものと思われます。はがきの表面にも差出日とおぼしき「十月二十日」の記載があります。

さて、文面を見てみましょう（図 2）。「早稲田大学開校 東京専門学校創立二十年記念



図 1 開校式翌日に書かれたはがき（宛名面）
「はがき」が使われています。この式典を記念して作成・販売されたものでしょう。本文は以下のように読めます。

「拝啓 昨日は御承知の通り早稲田大学の開校式にて大隈伯や伊藤侯爵等の演説を拝聴しこれより提燈行列にて市中をねりあるき午後十一時半帰宅致し候中々天下の壮観にて候○是ハ此度の記念はがきに候」

まさに早稲田大学の開校式に列席し、その後提燈行列で市中を練り歩いた興奮冷めやらぬ状況で書かれた文章と言えるでしょう。本文に「伊藤侯爵」とあるのは伊藤博文。大学の年表を紐解くと、この日、大隈重信の長年の政敵伊藤博文が開校式に出席して祝詞を



図2 開校式翌日に書かれたはがき（裏面）

述べた、とあります。その史実を裏付ける歴史的資料でもあります。

実は同じ人物が10日後に差し出した葉書も入手したので、あわせて紹介しておきます（図3）。宛先は同じく栃木の安蘇郡植野村。

「早稲田大学開校 東京専門学校創立二十周年記念はがき」の表記があるので、同じタイミングで作られたセットものでしょう。本文には「絵はがきの頂上にある写真は私の学校の校長天野博士にて候」とあります。肖像写真の一番上は、当時早稲田実業学校校長だった天野

為之。このはがきを書いたのは早稲田実業の生徒だったのでしょう。

一学生の目を通して見た早稲田の歴史の一角を、書簡に書かれた文章を通して眺めてみるのも興味深いものです。

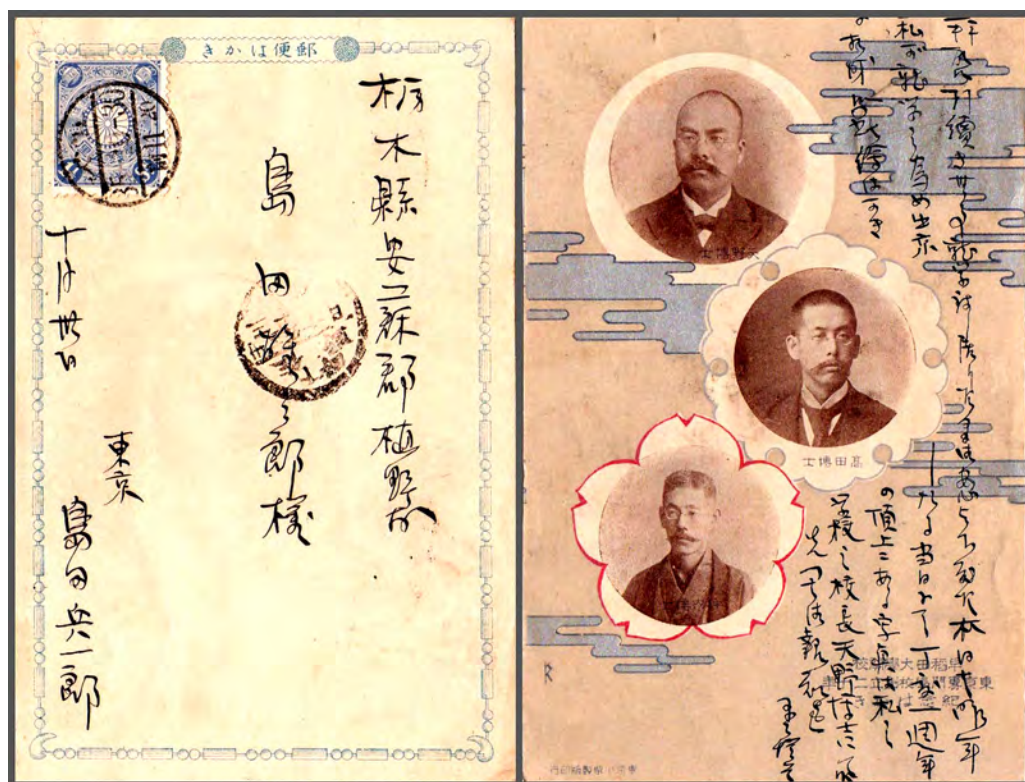


図3 開校式10日後に書かれたはがき（明治35年10月30日差出）

渡辺勝正会員の遺稿集発行

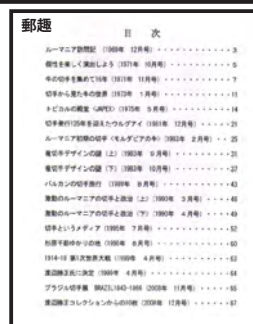
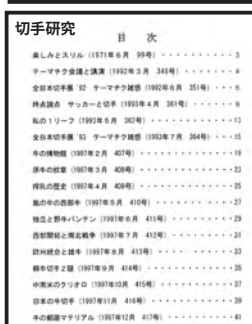
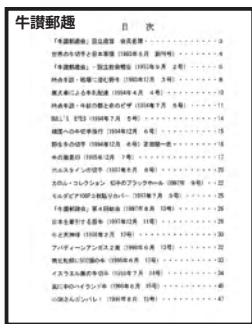
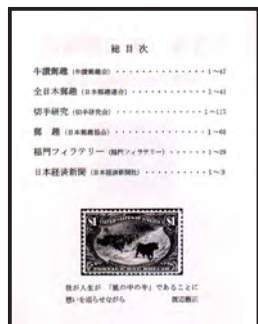
2018年12月に逝去されました渡辺勝正
会員夫人渡辺千代子様が遺稿集を3月末に
上梓され、大正出版より発行されました。

小さな「牛の博物館」

切手文化と印刷の変遷

B5 判 340 頁 定価 5500 円 (税込み)

發行 大正出版



注文は下記サイトを参考ください

<http://www.taishoshuppan.co.jp/kitte.html>



小林 彰会員がコレクション紹介書出版

カナダ・アドミラル・イシュー

伝統郵趣コレクション

990 円 (税込)

国内外の切手展で多くの賞を獲得した作品の写真版です。発行数が 80 部と少ないのですが、大麥安僱で大麥に見ごたえのある 1 冊です。

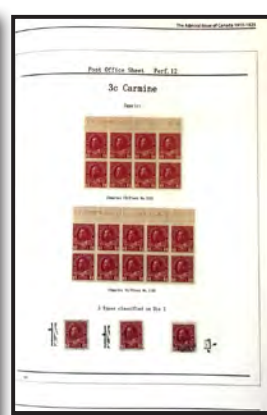
注文先：無料世界カカク・スタンディング株式会社
郵便：102-0083 海事ビル内郵便局留置

FAX : 03-5770-8504

電子メール：tpm@stampedia.net

編集後記

今年は郵政 150 周年という節目の年だが、お祝いムードはどこへやら。ちょっとした会合も自粛を迫られ、通い慣れた店の閉店を聞くことも増えてきた。せめて自宅での郵趣活動でストレス発散、免疫力アップといきたいところ。こんな時代だからこそ、趣味を糧に前向きに進んでいきたい。(池)



本会報バックナンバーカラー版を下記でご覧いただけます。

<http://www.talcen.com/paper.html>

発行日：2021 年 6 月 1 日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：青柳次男

150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4 階

(株)英国海外邮趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤克就 小川義博

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。